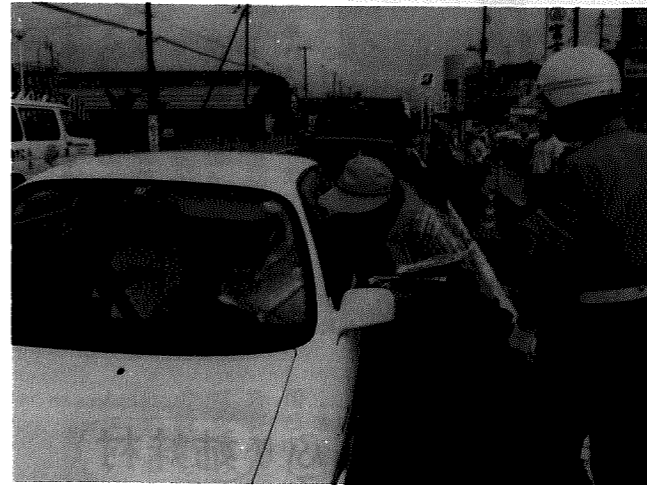


夏の交通事故防止に  
街頭指導所を開設

8月1日から10日間「シートベルトの着用の徹底」「若者の交通事故防止」「高齢者の交通事故防止」を運動の重点として、夏の交通事故防止運動が県下一斉に行われました。

村でもこの運動の一環として8月1日に、国道49号線の川根谷内地区で街頭指導所を開設しました。

指導所では、佐藤助役をはじめ、新潟南警察署長、交通安全協会、交通安全母の会、ライオンズクラブなど約40名が参加し、通行する車を一台一台止め、ドライバーに「安全運転に心掛けてください」と一声かけながら、星座の夜光うちわや母の会がつくった手芸のチューリップ、ライオンズクラブの交通安全タオルなどを手渡し、安全運転を呼びかけました。



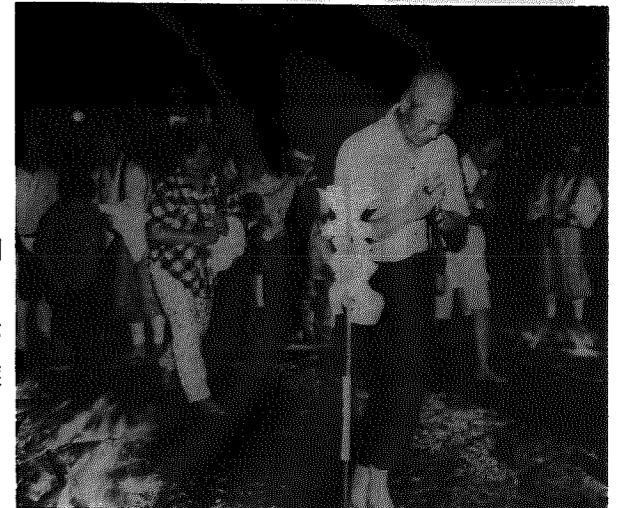
安全運転に心掛けて

真夏の熱い一夜  
木津薬師火祭り開催

7月28日、木津の薬師堂で恒例の火祭りが行われ、たくさんの人で賑わいました。

当日は、辺りが暗闇に包まれ始めた7時すぎ、山伏姿の修行僧が境内に入場し、「鉾切の儀」「放弓の儀」「宝剣の儀」などの儀式が行われた後、人の背丈ほどのまきに点火。赤々と燃える炎と読経の声により、幻想的な世界が創り出される中、大人から子供まで、無病息災を願い護摩木を火に投げ入れました。

下火になったところで薪を敷き広げ、修行僧に続き集まった人達もそれぞれの願いを胸に秘め火渡りを行っていました。



それぞれの願いを胸に秘めた火渡り

インディアカ大会  
横越チーム初出場

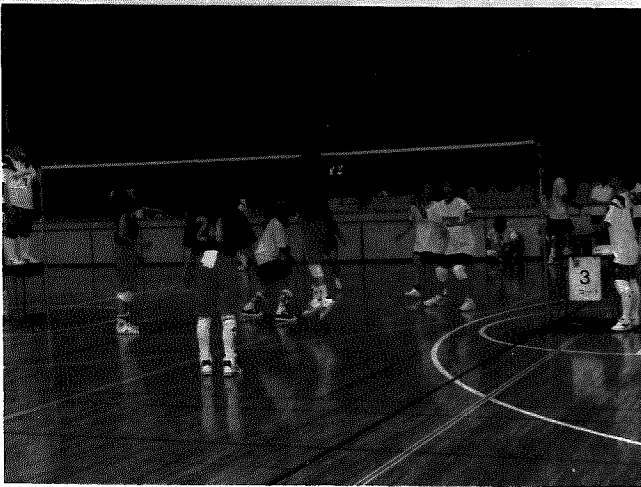
7月21日、第2回「'96オールにいがたインディアカ親善大会」が、総合体育館で開催されました。

遠くは上越市、塩沢町などを含む30チーム、200名余りが参加。横越チームも、大会に合わせ2チームを結成し、大会1カ月前より練習を積み重ね大会に望み、終始和やかな雰囲気で行いました。

最近ニュースポーツが盛んになってきましたが、その中でもインディアカという競技は全国的に盛んになり、全国大会も開催されている程です。

ルールは、バレーボールとほぼ同じですが、ボールの代わりに羽子板の羽根を少し大きくしたものを手の平で打ち合うものです。

なお、今大会の参加者に大変好評であったため、毎週火曜日に中学校体育館で練習する事になりました。



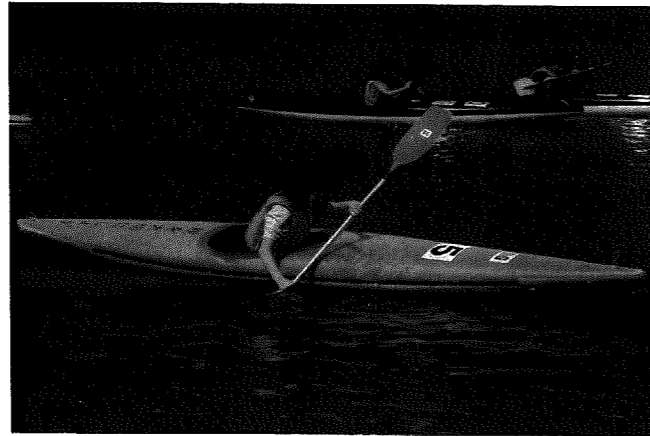
ニュースポーツのインディアカ親善大会

わんぱくスポーツ教室  
カヌーに挑戦

8月9日、わんぱくスポーツ教室（村教育委員会主催）が東蒲原郡津川町地内の阿賀野川を会場に開催されました。

教室には30名の児童が参加。普段経験することのできないカヌーやドラゴンボートなどに挑戦しました。

カヌーでは思った方向に進めず四苦八苦。ドラゴンボートではスピード感あふれる体験に歓声が響いていました。



カヌーを楽しむ児童たち

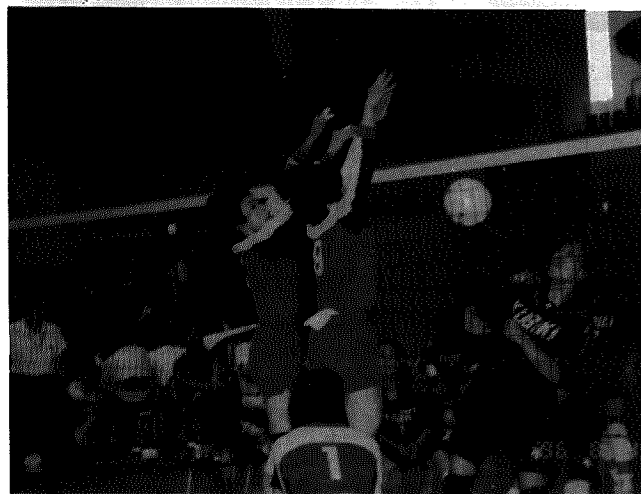
第8回  
新潟県スポーツフェスティバル婦人バレーボール大会  
横越クラブが優勝を飾る

8月3日、4日の両日、第8回新潟県スポーツフェスティバル婦人バレーボール大会（主催 新潟県ほか）が総合体育館と中学校体育館で開催されました。

大会は、県内から各地区の推薦を受けた28チームが参加、2日間に渡り熱戦が繰り広げられました。

地元から参加した横越クラブは開催地としての意地を見せ、順当に勝ち進み、見事優勝を果たしました。

- ・1回戦 横越クラブはシード
- ・2回戦 横越クラブ 2-0 堀之内ママ（堀之内町）
- ・3回戦 横越クラブ 2-0 くびき（頸城村）
- ・準決勝 横越クラブ 2-1 豊浦クラブ（豊浦町）
- ・決勝 横越クラブ 2-0 ファミリー新発田（新発田市）



ブロックで相手の攻撃を防ぐ横越クラブ（手前側）



行列ができた模擬店

のぎくの家と地域の架け橋に  
～第8回のぎくの家夏まつり開催～

8月18日、重度視覚障害者施設「のぎくの家」で夏まつりが行われました。

このまつりは今年で8回目を数え、午後6時に小野塚テイ施設長より「この祭が地域とのぎくの家をつなぐ架け橋となり、福祉を考える場としていただければ嬉しい」と挨拶があった後、地元横越上の子供たちによる郷土芸能やマジカルパペット（人形劇）などが行われた他、今年は新たに渡貫時美さんの三味線の伴奏に合わせ、連合婦人会と一般の方々による盆踊りが催され、大変盛り上がりしました。また、連合婦人会やライオンズクラブ、横越中学生などのボランティアの方々が中心となり行った野菜市、金魚すくい、我楽多市、くじなどの模擬店にも行列ができる程でした。